



Build Happy Internet Life

トップメッセージ  
高谷 康久

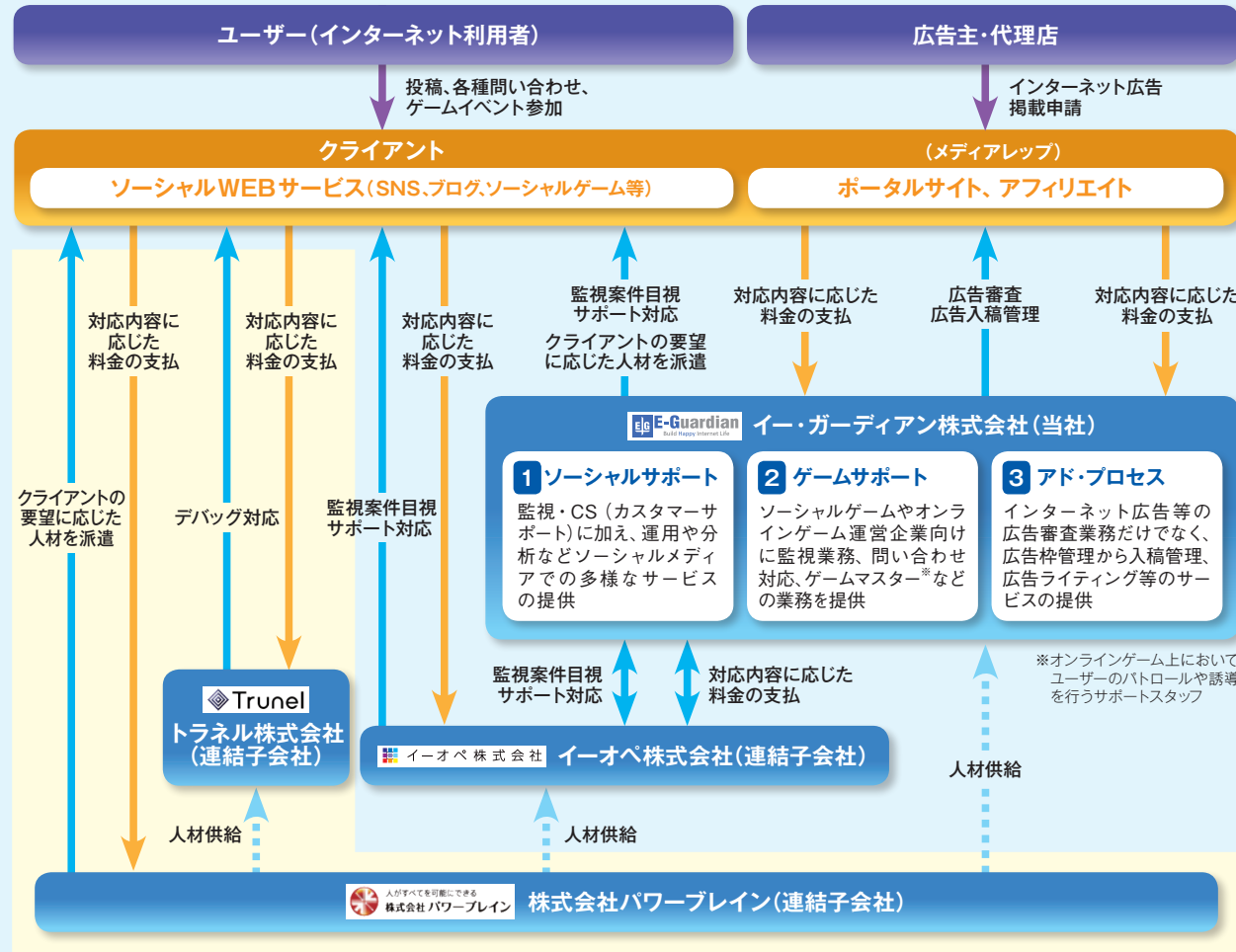
# 成長へ、新たな一歩

株主・投資家の皆様へ

**E-G通信** 第17期 2013年10月1日～2014年9月30日

証券コード：6050

すべてのインターネット利用者に安心・安全をベースに「楽しい」を提供します。



- 新規に事業領域を拡大した部分
- 500社を超える運用実績**
- 株式会社シーイー・モバイル
  - 株式会社ケイ・オブティコム
  - 株式会社リクルートライフスタイル
  - 株式会社カブコン
  - 株式会社ベネッセコーポレーション
  - 株式会社バンダイナムコゲームス
  - 株式会社 gumi
  - 株式会社アドバンスクリエイト
  - 株式会社ネクソン
  - その他多数

成長が続くインターネット関連市場において、さらなる体制強化と事業拡大を進めてまいります。

第17期は、これまで培ってきた実績やノウハウをもとに、さらなる成長を目指すべく、子会社の設立や新サービスの提供により事業体制の強化に取り組みました。それにより、新規顧客開拓や既存顧客の深耕が可能となり、今後の成長に大きく寄与するものと考えております。

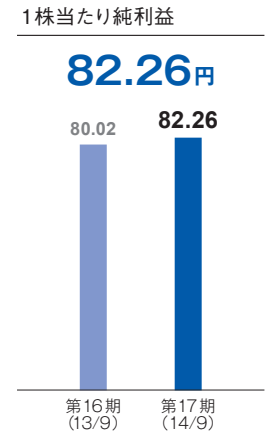
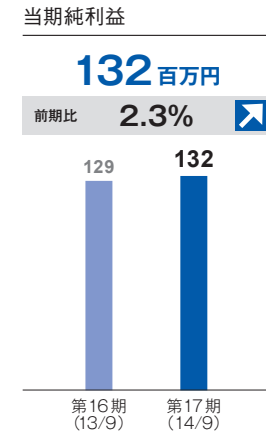
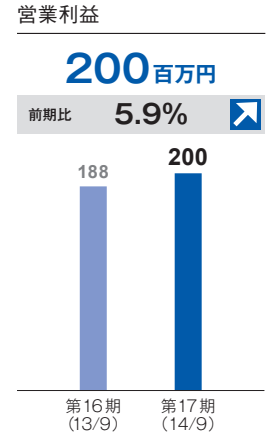
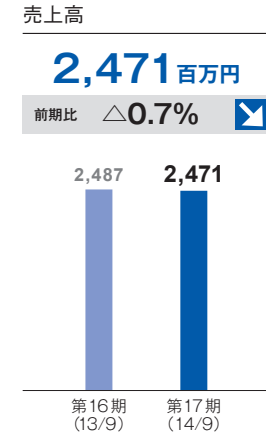
また、スマートフォンの普及などにより、インターネット上での安全性が一層注目される中で、より安心・安全な環境を利用者へ提供してまいります。

企業ブランディングに取り組み、シェアを高め、インターネット関連業界の中での認知度と存在感をより一層高めることで、企業価値の向上を目指してまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長  
高谷 康久

業績ハイライト



**Point** 利益面で期初計画を達成し、安定収益構造へ

第17期は、ソーシャルサポート分野で特定の大口顧客との取引が大幅に減少しましたが、新規顧客開拓や既存顧客の深耕でカバーすることにより、売上は計画未達となったものの、利益面では期初計画を達成いたしました。引き続き、特定の顧客に売上を依存しない安定的な収益構造への移行を進めてまいります。

# 成長へ、新たな一歩

第17期の新規事業開始とM&Aの成果を反映し、さらなる成長を実現します。

## 利益面では期初計画を達成し、安定した収益構造に転換

第17期は、ほぼ計画通りの成果を上げることができました。売上は25億円の目標に対して24億7,000万円とわずかに届きませんでした。営業利益、経常利益、当期純利益はすべて目標を達成いたしました。

売上の未達については、ソーシャルサポート分野において特定の大口顧客との取引が以前の10分の1以下に減少したためですが、この減少分をソーシャルサポート分野はもちろんゲームサポート分野とアド・プロセス（広告審査）分野の売上と利益の拡大で、横ばいのところまでカバーすることができました。これは、当社の収益構造が特定の大口顧客に過度に依存しない、極めて安定的なものへと移行してきていることの証左でもあります。

## デバッグの新規事業化とM&AによるIT人材育成・派遣事業の獲得

第17期は次の成長に向けた重要な布石を打ちました。それが新規事業の立ち上げとM&Aによる新規分野の獲得です。新規事業ではデバッグ事業を起すとともに、それを担うトラネル株式会社を10月1日に子会社として設立いたしました。

デバッグとは、コンピュータやゲーム等のプログラ

ムにあるバグ（欠陥）を発見して修正することですが、近年では家電やおもちゃ、パチンコ・パチスロなどあらゆるものにコンピュータとプログラムが組み込まれています。特に家電などはプログラムにバグがあるとリコールが発生し、メーカーにとって莫大なコスト負担になってしまいます。このような面からも、デバッグ市場は今後ますます拡大していくと見られております。

加えて、当社がこの分野に取り組むことには独自のメリットがあります。これまではゲームが完成しリリースされてから当社のサポート業務が始まっていたわけですが、デバッグの業務はゲームを作成する過程で発生するため、一つの顧客から発生する顧客内シェアを高めることができます。これまでは依頼されても外注するしかなかった業務を取り込むことで今後の成長がより確実になるため、当社としては既存分野に続く第二の柱として育ててまいります。

また、M&Aでは、9月1日に人材派遣業の株式会社パワーブレインの株式を取得して子会社化いたしました。当社の業務は、カスタマーサポートにしてもデバッグにしても「人」が重要です。同社にITに強い人材を集めて教育し、イー・ガーディアン本体やトラネル社に供給することはもちろん、外部にも人材を派遣していく計画です。

パワーブレイン社を擁することで、「週に何日かだけ働きたい」「1日のうち4時間だけ働きたい」などのニーズを吸い上げてより効率的に人材を活用することが可能となり、当社の成長を加速させていくものと考えております。

## 成長が期待できるオンリーワンの画像フィルタリングシステム

東京大学と共同開発した世界初の画像フィルタリングシステムは、すでに児童ポルノに特化したサービスを開始しております。この技術は独自性が高く他社の追随が困難であるだけでなく、様々な不適切画像の発見、ネットオークションなどでの偽物の発見、ネット上でのファッションの提案など幅広い用途への応用の可能性を有しており、すでに海外からの引き合いも来ております。当社は「人」と「システム」でビジネスを展開していますが、特に粗利率が高いシステム分野での事業拡大が重要です。画像フィルタリングシステムは、間違いなく当社の第三の柱へと成長していくと確信しております。

## 第18期は売上・利益とも着実な成長を計画

第18期は、既存子会社であるイーオペ株式会社に加え、新規子会社2社が1年目から売上と利益に貢献します。このようなグループ化により営業部門と管理部門をグループ全体で共通化できるなど、コスト面でのシナジー効果が生まれるとともに、顧客内シェアを高めて売上・利益増につなげる体制が整いました。

このため、第18期は売上13.7%増の28億円、営業利益6.9%増の2億1,400万円、経常利益6.1%増の2億5,000万円、純利益は10.1%増の1億4,300万円を計画しております。

株主の皆様には、今期も配当を継続してまいりますので、今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。

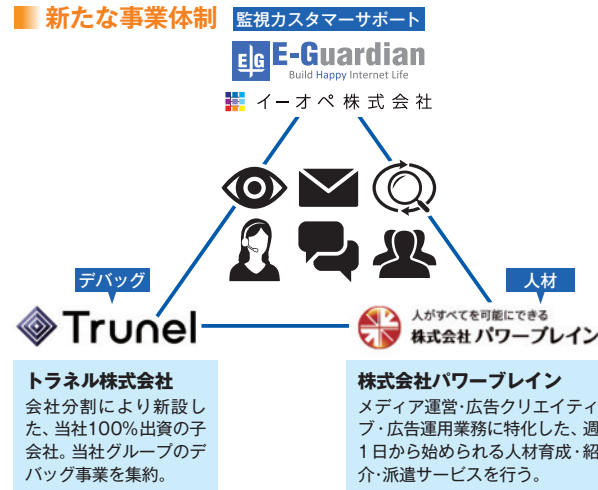
代表取締役社長  
高谷 康久

## 1 子会社化による体制強化で、事業拡大及び収益向上を追求

スマートフォンなどの普及によりソーシャルゲーム市場の拡大が続いていますが、当社グループは多様化する顧客ニーズやデバッグ需要に対応すべく、会社分割により子会社「トラネル株式会社」を新設いたしました。デバッグ事業を新会社に集約することにより、ノウハウをさらに蓄積してサービスの付加価値を高めてまいります。

また、人材派遣事業を行う「株式会社パワーブレイン」を子会社化することを決定いたしました。これまでの実績をもとに「お客様の現場へ直接人材を派遣する常駐型」のサービス提供を大幅に強化することができ、多くの課題解決に貢献できると考えております。

これら2社の子会社化による体制強化により、事業拡大及び収益性向上を追求してまいります。



## 2 東京大学と産学連携開発「画像フィルタリングシステム」を提供開始

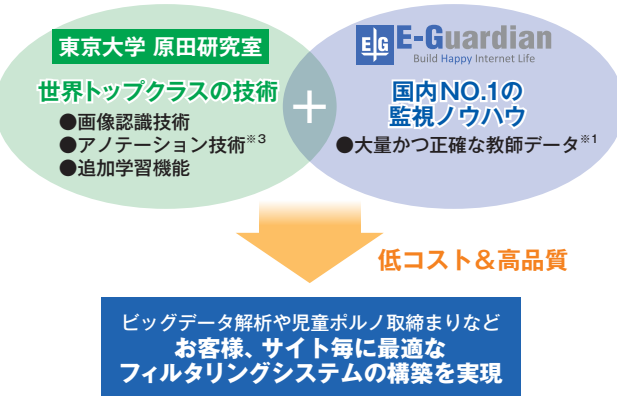
当社は東京大学大学院 情報理工学系研究科 知能機械情報学専攻 原田研究室と画像認識システムの共同研究・開発に取り組んでまいりましたが、このたび正式に「画像フィルタリングシステム」の提供を開始することになりました。

このシステムは、まず目視により分類した教師データ\*1をコアエンジンに学習させます。その後、対象画像・動画をシステムに判定させ、間違っていれば自動学習するという作業を繰り返し行うことで判別能力を向上していきます。ブログなどでは、これまで膨大な投稿を目視でパトロールしていましたが、今回の導入により1画像につき0.5秒で自動判別・把握が可能となり、導入前と比べて1/20のコスト削減(当社調べ)が見込まれます。

また、導入したお客様には過去に投稿された不適切画像のハッシュデータ\*2を教師データとして頂くことにより、さらに多くの不適切画像の学習が可能となり、より精度の高いシステムとなります。

今後はこのシステムを、より多くのインターネットメディアで使用できるよう構築し、様々な領域まで拡張してまいります。

### 自動識別型 画像フィルタリングシステムとは



\*1 教師データ …… 機械学習の仕組みを構築する際の初期学習のデータ  
\*2 ハッシュデータ …… 画像の特徴点のみをテキスト化したデータ。画像には戻せないもの  
\*3 アノテーション技術 …… データに注釈となる情報を、メタデータとして追加すること

## 会社概要 (2014年9月30日現在)

商号 イー・ガーディアン株式会社  
E-Guardian Inc.

代表者名 代表取締役社長 高谷 康久

設立 1998 (平成10)年5月

資本金 34,005万円

従業員数 連結 584名 (うち契約社員数459名)

本社 〒106-0045  
東京都港区麻布十番 1-2-3 プラスアストルビル 4F  
TEL:03-5575-2561 FAX:03-5575-0621

センター所在地

- 東京センター  
〒106-0045  
東京都港区麻布十番 1-2-3 プラスアストルビル 6F  
TEL:03-5575-2562 FAX:03-6675-3030
- 立川センター  
〒190-0012  
東京都立川市曙町 2-10-1 ふどうやビル 10F  
TEL:042-847-3300 FAX:042-847-3301
- 大阪センター  
〒530-0001  
大阪府大阪市北区梅田 1-1-3 大阪駅前第3ビル 20F  
TEL:06-6346-6080 FAX:06-6346-6180
- 宮崎センター  
〒880-0805  
宮崎県宮崎市橋通東 4-1-2 宮崎野村證券ビル 7F  
TEL:0985-42-7900 FAX:0985-42-7901

関連会社

- イーオベ株式会社
- 株式会社パワーブレイン
- トラネル株式会社

事業内容

- ブログ・SNS・掲示板企画コンサルティング
- リアルタイム投稿監視業務
- ユーザーサポート業務
- オンラインゲームカスタマーサポート業務
- コンプライアンス対策・風評・トレンド調査業務
- コミュニティサイト企画・サイト運営代行業務・広告審査代行サービス業務
- 人材派遣業務

## 株式情報

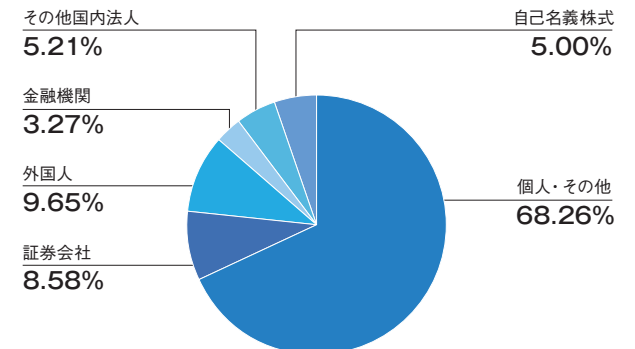
### 株式の状況

発行可能株式総数 5,400,000株  
発行済株式の総数 [うち自己株式 49,747株] 1,698,800株  
株主数 2,190名

### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
高谷 康久	180,800	10.64
イー・ガーディアン株式会社	84,947	5.00
ドイチェ バンク アーゲー ロンドン ピービー ノントリティー クライアーツ 613 (常任代理人 ドイツ証券株式会社)	81,800	4.81
日本マルチメディアサービス株式会社	51,000	3.00
株式会社SBI証券	50,900	2.99
日本証券金融株式会社	48,700	2.86
東森 日出夫	41,700	2.45
永徳 克己	30,000	1.76
楽天証券株式会社	21,000	1.23
松井証券株式会社	18,300	1.07

### 所有者別株式数の分布状況



## コラム Column

### 「SNS 乗っ取り」って何？

近年、Web上で本人認証に使われるIDやパスワードなどのアカウント情報を盗み、本人になりすました不正アクセスで情報や金銭を盗むという犯罪が増えています。これがいわゆるアカウントの「乗っ取り」です。

LINEやFacebookに代表されるSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）ではアカウントの乗っ取りにより、知らない間に情報を窃取されたり、悪意あるサイトの宣伝や誘導に加担させられたりといった、自分だけでなく周りの人も巻き込む被害が相次いでいます。SNSでは見知らぬ人からの申請を安易に承認しない、他サービスと重複しないIDやパスワードを使用するなどの注意が必要です。



## ホームページのご紹介

ホームページでもさまざまな情報をご覧いただけます。

### トップページ

<http://www.e-guardian.co.jp/>



### 株主・投資家情報

<http://www.e-guardian.co.jp/ir/index.html>



## 株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月に開催
株主名簿管理人	〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告とする。 やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行う。

電子公告掲載 URL

<http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6050/6050.html>

**E-Guardian**  
Build Happy Internet Life

イー・ガーディアン株式会社

<http://www.e-guardian.co.jp/>

〒106-0045

東京都港区麻布十番1-2-3 プラスアストルビル4F

TEL:03-5575-2561 FAX:03-5575-0621

